

抗ウイルス効果のある化粧品素材を開発!

－ 機能性ポリマーによる新型コロナウイルスの不活化確認 －

株式会社日本触媒（本社：大阪府中央区、社長：五嶋祐治朗、以下「日本触媒」）は、化粧品素材として開発した機能性ポリマーに新型コロナウイルスの不活化効果があることを確認いたしました。この機能性ポリマーは、お肌や毛髪を潤すととともに菌やウイルスから守ることを目的とした商品への応用が期待できます。

日本触媒が開発した機能性ポリマーは親水性モノマーと疎水性モノマーで構成され、水分保持機能と被膜形成能を両立した新しいポリマーです。これまでに細菌への抗菌作用やエンベロープウイルス^{*1}類であるインフルエンザウイルスに対する不活化効果を有することを確認していました。

日本触媒では、抗菌・抗ウイルス機能をさらに検証するため、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を引き起こす SARS コロナウイルス 2（SARS-CoV-2^{*2}）に対する効果評価を行いました。今回の評価では、ポリマー濃度 0.1%の試験条件において、ウイルスの不活化効果は処理時間 60 分で約 99%、120 分で約 99.9%であることが分かりました。ポリマー濃度 0.1%において、60 分以上の接触により十分な効果を発揮できることが分かりました。今後も詳細データの取得を行い、SARS-CoV-2 に対するポリマー濃度の影響なども明らかにしていきます。

このポリマーを配合した化粧品は、お肌や毛髪を菌やウイルスによるダメージから守ることが期待されます。

本成果の一部は、CITE JAPAN 2021（第 10 回化粧品産業技術展）において発表する予定です。

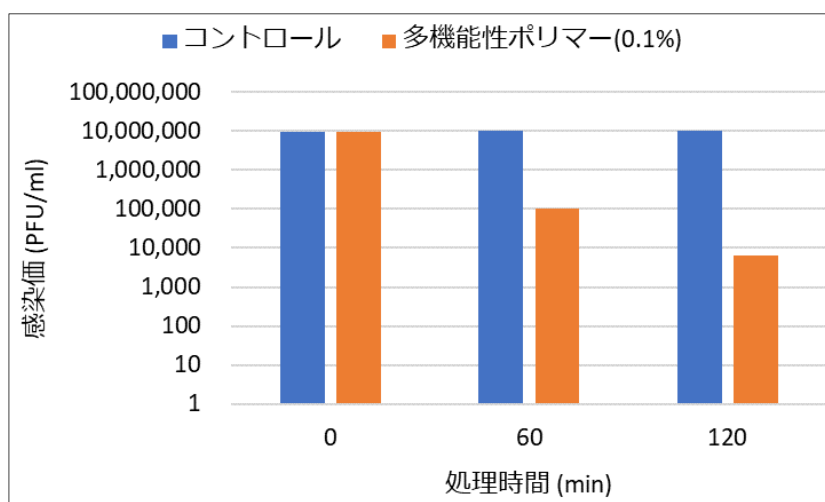


図 1. SARS-CoV-2 に対する不活化効果

用語の説明

- ※1 エンベロープウイルス：単純ヘルペスウイルスやインフルエンザウイルス、ヒト免疫不全ウイルスなど一部のウイルス粒子に見られる膜状の構造をもつウイルスのこと。
- ※2 SARS-CoV-2：SARS コロナウイルス 2（略称：SARS-CoV-2）は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の原因となる、SARS 関連コロナウイルスに属するコロナウイルス。

以上

日本触媒について：

1941年の創業以来、自社開発の触媒技術を核に事業を拡大。酸化エチレンやアクリル酸、自動車用・工業用触媒などを世の中に送り出し、現在では紙おむつに使われる高吸水性樹脂で世界1位のシェアを誇っています。日本触媒は「テクノロジー（技術）」を通じて「アメニティ（豊かさ）」を提供する、という企業理念「TechnoAmenity」のもと、グローバルに活動する化学会社です。

<https://www.shokubai.co.jp>

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

TEL:03-3506-7605 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2

E-mail: shokubai@n.shokubai.co.jp